

令和 4 年度

小笠中学校総合体育大会実施上の
COVID-19 感染拡大予防ガイドライン



令和 4 年 4 月 1 日

小笠中学校体育連盟

令和4年度 小笠中学校体育連盟
小笠中学校総合体育大会実施上の COVID-19 感染拡大予防ガイドライン

本ガイドラインは、「学校の新しい生活様式」（文部科学省）、「社会体育施設の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」（スポーツ庁）及び「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」（日本スポーツ協会・日本障がい者スポーツ協会）、「全国中学校体育大会実施上の COVID-19 感染拡大予防ガイドライン」（日本中学校体育連盟）等を踏まえて、現段階で得られている知見等に基づいて作成しています。

今後の知見の集積及び新型コロナウイルスの感染状況により、随時見直すことがあり得ることに御留意ください。

1 大会実施に当たっての基本的な考え方について

大会の実施に当たっては、「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～」（文部科学省）を踏まえ、「社会体育施設の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」（スポーツ庁）、「スポーツイベント再開に向けた感染予防ガイドライン」（日本スポーツ協会・公益財団法人日本障がい者スポーツ協会）、「全国中学校体育大会実施上の COVID-19 感染拡大予防ガイドライン」（日本中学校体育連盟）等を参考に、今後の小笠中学校体育大会実施に当たっての基本的な考え方に基づき新型コロナウイルス感染症の感染防止策を講じることとします。

【大会開催に当たっての基本的な考え方】

- (1) 感染源を絶つ
- (2) 感染防止の3つの基本
 - 身体的距離の確保 ○ マスクの着用 ○ 手洗い等の徹底
- (3) 3つの「密」（密閉空間、密集場所、密接場面）の回避
- (4) 安全な活動環境の確保

2 大会実施時の感染防止策について

(1) 感染源を絶つ

- 大会本部は、風邪の症状（発熱、咳、鼻汁、咽頭痛、頭痛等）がある選手や引率者等は、大会に参加させないことを徹底する。
- 大会本部は、各校の選手及び引率者等の2週間分の体調を記録した体調記録表（別紙1）の記録を求め、健康管理を徹底する。
- 大会本部は、大会当日受付時等に、学校同行者体調記録表（別紙2）を提出させ、選手や引率者等の体調を確認するとともに、大会中、選手や引率者等に体調不良がある場合は大会本部に申し出るよう場内アナウンス等で確認を促す。
- 大会本部は、学校同行者体調記録表（別紙2）に記載された者以外の来場者に対し、来場者体調

記録表（別紙 3）に、氏名・年齢・住所・連絡先（電話番号）・検温した体温・来場前 2 週間におけるア：平熱を越える発熱、イ：咳や喉の痛みなど風邪の症状、ウ：だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸難困）、エ：味覚や嗅覚の異常、

- 引率者等は、集合時、更衣後、ウォーミングアップ終了後、試合前後、昼食時、解散時等、こまめに選手の体調不良の有無を確認する声かけを行うなど、集合時から解散時まで選手の健康観察を徹底する。
- 大会本部及び引率者等は、大会中に、選手等の体調不良を確認した場合、大会救護係や医療機関及び保護者等と連携し、当該選手の体調を確認するとともに、安全に帰宅させるなどの対策を講じる。（詳細は 3 及び「小笠中体連感染者発現時の対応マニュアル」参照）

(2) 感染防止の 3 つの基本

ア 身体的距離の確保

- 原則開会式等は実施しない。また、抽選会は、必要最小限の人数によって代理抽選とする。
- 大会本部は、監督者会議等を実施する場合、人と人との間隔が、できるだけ 2 メートル（最低 1 メートル）空くよう、椅子の配置を広くするなどの工夫をする。
- 引率者等は、集合時待機中、休憩中及び食事中などにおいて、選手同士の間隔ができるだけ 2 メートル（最低 1 メートル）空くように指導する。
- 大会本部及び引率者等は、対戦相手や審判等との握手、仲間と手をつないだり肩を組んだりして行う円陣ハイタッチなどの実施を制限する。

イ マスクの着用

- 大会本部は、選手、引率者等及び大会関係者に、マスク等を準備させ、大会中は、競技等実施時及び食中等を除いて、基本的にマスク等を着用し、咳エチケットを徹底するよう指示をする。ただし、活動中や気候の状況等より、熱中症などの健康被害が発生する可能性が高いと判断した場合は、マスクを外すよう選手に指導する。
- マスク等を着用して運動を行う場合には、同じ運動であっても身体へ高い負荷がかかり、低酸素症や熱中症などのリスクが高まるため、引率者等は、会場の気温や湿度に注意しながら、選手の健康観察を行うとともに、こまめに給水をさせる。その際給水用のコップ等を共用させない。

ウ 手洗い等の徹底

- 大会本部は、選手、引率者等及び大会関係者が、こまめに手洗いを行えるよう、利用する施設と連携し、手洗い場に十分な量の石けん等を設置するとともに、場内アナウンス等で選手や引率者等に手洗いを促す。
- 大会本部は、手洗い場等に「手洗いは 30 秒以上」の掲示をする。参加者には、事前に手洗い後に手を拭くためのマイタオルを持参するよう周知徹底する。
- 引率者等は、集合時、更衣後、ウォーミングアップ終了後、試合前後、昼食前後、解散時等、こまめに流水と石けんで手洗いを行うよう、選手に指導する。

(3) 3 つの「密」（密閉空間、密集場所、密接場面）の回避

- 試合会場への入場は、登録された選手、引率者等及び大会関係者とし、出場選手として登録されていない部員やマネージャー、保護者の入場については利用する会場や施設の状況、各専門部の加盟生徒数等を考慮し判断する。
- 大会本部は、試合会場を複数設けるなどし、選手、引率者等の会場への移動が短縮できるよう工夫する。

- チームでまとまって会場へ移動する場合引率者等は、バス等の車内が、密閉空間にならないよう、運転手と連携し定期的に換気をしたり、1 台に乗車する人数を減らしたりするなどの工夫をする。
- 大会本部は、更衣室で選手が密集しないよう、一度に利用できる人数を制限し明示する。また、更衣室内に選手同士の間隔ができるだけ 2 メートル（最低 1 メートル）空くように目印テープを貼付するとともに、更衣室の換気扇を常時運転したり、換気用の小窓を開けたりする等、換気に配慮する。
- 大会本部は、屋内で実施する競技において、会場内で人が密集しないよう、一度に会場に入れる人数や学校数等を制限するなどの工夫をする。
- 大会本部は、屋内で実施する競技において、1 時間に 2～3 回程度、会場のドアや窓を開け換気を行うなどの工夫をする。その際、試合会場の窓等の開閉が困難な場合は、利用する施設と連携し、換気設備を適切に運転する。この場合においても 1 時間に 2～3 回程度会場の入口等を開け換気を行うなどの工夫をする。
- 大会本部及び引率者等は、試合会場のベンチや食事をする場所について、できるだけ 2 メートル（最低 1 メートル）空くよう、選手同士の間隔を取らせ対面をさけ、会話は控えるよう指導する。

(4) 安全な活動環境等の確保

- 試合に関わる全ての者（大会役員、審判、指導者、選手）は、試合が開始される 2 週間前からの行動を行動履歴書（別紙 4）に記録する。
- 大会本部は、参加校に対し大会の主旨、感染拡大予防ガイドラインを周知徹底する。顧問等は、大会に参加する選手及び保護者に対し、参加に当たっての注意事項等を事前に説明し、同意書（別紙 5）を提出させる。その際、大会申込期日までに定期健康診断の実施が行なわれていない学校の生徒については、各自で健康診断を受診するなど保護者の責任のもと健康上問題がないことを確認したうえで参加させる。
- 試合会場へ入場する保護者については、来場者体調記録表（別 3 紙）を記録の上、来場ごとに開催大会本部に提出する。
- 選手の体調不良や救急搬送等の事態が発生し、保護者の同意や意向聴取等が求められることも想定し、引率率や学校等と保護者が確実に、速やかに連絡がとれる体制を構築しておく。
- 社会体育施設を利用して大会を実施する場合は、「社会体育施設の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」（スポーツ庁）に則り運営する施設を選定し、感染拡大予防対策について、事前に施設と打合せを行う。
- 大会本部及び引率者等は、別紙「県大会実施時の感染防止対策チェックリスト」例を参考に、各部活動の実態や各競技特性に応じた、適切な感染防止策を講じる。

3 大会実施時の体調不良者発生時の対応について

(1) 入場時、受付時での体調不良者発生時の対応について

- 体調記録表の提出内容を以下のポイントで確認。
 <確認ポイント>
 - ・発熱や風邪の症状の有無
 - ・当日の検温記録、体調記録表の記入漏れの有無
- 確認ポイントにおいて症状や記入の不備がある場合は、入場、受付を取りやめる。記入の不備については不足事項の確認（検温等）を行う。

- 体調不良者（例：発熱、咳、のどの痛み、倦怠感、味覚嗅覚の異常など）または症状が確認されたものについては、大会本部（競技部）に報告の上、帰宅を促し各自医療機関を受診するよう伝える。

（２）入場後、大会開催中の体調不良者発生時の対応について

- 大会参加者（選手、監督、コーチ）内において、体調不良者が確認された場合は引率部活動顧問への報告を行う。
- 引率部活動顧問は、学校長及び体調不良者の保護者等へ連絡を取り、緊急性も含め医療機関に受診させ医師の指示に従う。
- 診察の結果、新型コロナウイルス感染が疑われる場合は、速やかに医療機関や保健所の指示に従い適切に対応する。

（３）症状があり帰宅を促す際の対象者への案内

- 体調記録表に挙げられた項目の症状が４日間以上続く場合は、必ず最寄りの保健所、医療機関等に報告・相談する。
- 症状がなくとも、弱い症状であると感じる場合も同様、最寄りの保健所、医療機関等に報告・相談する。

※ 新型コロナウイルス感染者及び濃厚接触者発現時の対応については別紙のとおり

４ 大会開催可否判断について

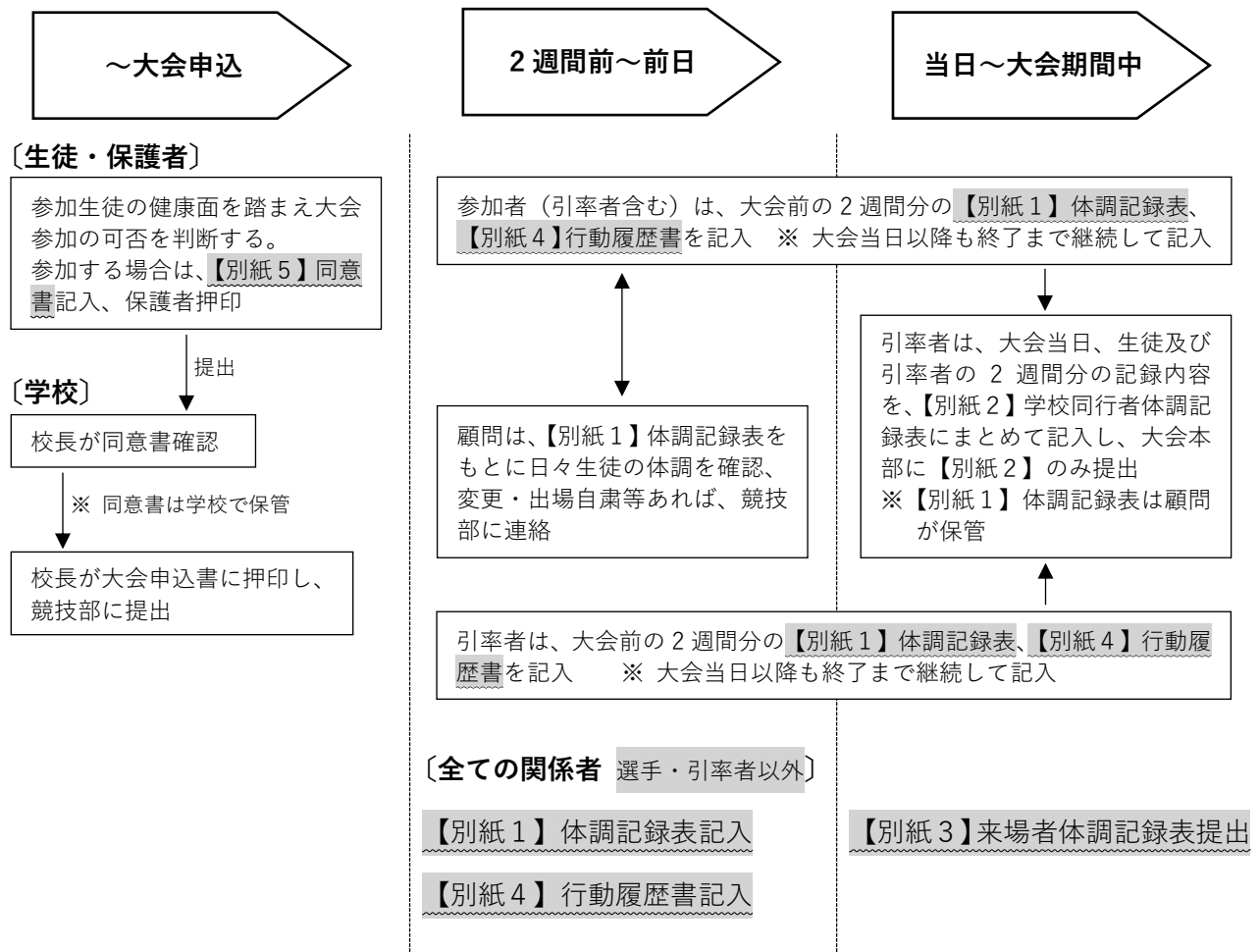
新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、以下の状況となった場合、臨時に常任理事会を開催し、大会開催可否について検討する。

- 静岡県に対して新型インフルエンザ等特別措置法に基づく緊急事態宣言が発令された場合
- 静岡県独自の緊急事態宣言等の発令またはイベント開催自粛要請がされた場合
- 静岡県内医療機関の新型コロナウイルス感染症患者の受け入れが対応不可となった場合
- 各学校代表選手の参集が困難な場合
- 大会に参加している者及び大会運営に係る者に新型コロナウイルス感染症感染者が発生し、大会運営に支障をきたす、またはその可能性が想定される場合
- その他新型コロナウイルス感染症に起因する事象により大会の開催が困難とされる場合

別 紙 一 覧

- ☐ 【別紙 1】 体調記録表
- ☐ 【別紙 2】 学校同行者体調記録表
- ☐ 【別紙 3】 来場者体調記録表
- ☐ 【別紙 4】 行動履歴書
- ☐ 【別紙 5】 同意書
- ☐ 大会本部用チェックリスト
- ☐ 選手・引率者用チェックリスト

大会参加までの流れ（フロー図）



※ 【別紙 4】行動履歴書は、罹患者が発生したときに必要となる場合があるため、大会終了後1カ月程度、各自で保管しておくこと。

【別紙 1】

体調記録表

所属（ ） 氏名（ ）

◎ 自身の体調について、素直に申し出るようにしてください。体調の異変を感じた際は、早めの相談や受診をお願いします。

	月 日	曜 日	体 温	体調について（各項目の□にレをすること）
1	月 日		. °C	☐ せき、のどの痛みなど風邪の症状はない ☐ 身体のだるさ、息苦しさはない ☐ 味覚や嗅覚（きゅうかく）の異常はない
2	月 日		. °C	☐ せき、のどの痛みなど風邪の症状はない ☐ 身体のだるさ、息苦しさはない ☐ 味覚や嗅覚（きゅうかく）の異常はない
3	月 日		. °C	☐ せき、のどの痛みなど風邪の症状はない ☐ 身体のだるさ、息苦しさはない ☐ 味覚や嗅覚（きゅうかく）の異常はない
4	月 日		. °C	☐ せき、のどの痛みなど風邪の症状はない ☐ 身体のだるさ、息苦しさはない ☐ 味覚や嗅覚（きゅうかく）の異常はない
5	月 日		. °C	☐ せき、のどの痛みなど風邪の症状はない ☐ 身体のだるさ、息苦しさはない ☐ 味覚や嗅覚（きゅうかく）の異常はない
6	月 日		. °C	☐ せき、のどの痛みなど風邪の症状はない ☐ 身体のだるさ、息苦しさはない ☐ 味覚や嗅覚（きゅうかく）の異常はない
7	月 日		. °C	☐ せき、のどの痛みなど風邪の症状はない ☐ 身体のだるさ、息苦しさはない ☐ 味覚や嗅覚（きゅうかく）の異常はない
8	月 日		. °C	☐ せき、のどの痛みなど風邪の症状はない ☐ 身体のだるさ、息苦しさはない ☐ 味覚や嗅覚（きゅうかく）の異常はない
9	月 日		. °C	☐ せき、のどの痛みなど風邪の症状はない ☐ 身体のだるさ、息苦しさはない ☐ 味覚や嗅覚（きゅうかく）の異常はない
10	月 日		. °C	☐ せき、のどの痛みなど風邪の症状はない ☐ 身体のだるさ、息苦しさはない ☐ 味覚や嗅覚（きゅうかく）の異常はない
11	月 日		. °C	☐ せき、のどの痛みなど風邪の症状はない ☐ 身体のだるさ、息苦しさはない ☐ 味覚や嗅覚（きゅうかく）の異常はない
12	月 日		. °C	☐ せき、のどの痛みなど風邪の症状はない ☐ 身体のだるさ、息苦しさはない ☐ 味覚や嗅覚（きゅうかく）の異常はない
13	月 日		. °C	☐ せき、のどの痛みなど風邪の症状はない ☐ 身体のだるさ、息苦しさはない ☐ 味覚や嗅覚（きゅうかく）の異常はない
14	月 日 (大会 1 日目)		. °C	☐ せき、のどの痛みなど風邪の症状はない ☐ 身体のだるさ、息苦しさはない ☐ 味覚や嗅覚（きゅうかく）の異常はない
15	月 日 (大会 2 日目)		. °C	☐ せき、のどの痛みなど風邪の症状はない ☐ 身体のだるさ、息苦しさはない ☐ 味覚や嗅覚（きゅうかく）の異常はない
16	月 日 (大会 3 日目)		. °C	☐ せき、のどの痛みなど風邪の症状はない ☐ 身体のだるさ、息苦しさはない ☐ 味覚や嗅覚（きゅうかく）の異常はない

学校名 () 責任者氏名 ()

※ 枠が不足する場合は、用紙を追加してください。

来場者体調記録表

所属（ ） 氏名（ ）

1 記入事項 (1)～(4)の各項目へ漏れなく回答ください

※ 個人情報取得については、大会終了後に参加者から新型コロナウイルス感染の報告を受けた場合に必要となる拡大予防対策措置のためであり、その目的の達成に必要な範囲内で使用します。なお、主催者側で1カ月程度保管し、その後は破棄します。

(1) 以下の事項に該当する場合には自主的に参加を見合わせてください。

- ① 体調がよくない（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
- ② 新型コロナウイルス感染症陽性とされたものとの濃厚接触がある
- ③ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる

→ 【 該当する ・ 該当しない 】

(2) 連絡先等

氏 名（ ） 電話番号（ ）
住 所（ ） 年 齢（ ）歳

(3) 本日の体温（ ）℃

(4) 前2週間における以下の事項の有無（いずれかに○をしてください。）

- | | | | | |
|-------------------------|---|---|---|---|
| ① 平熱を超える発熱（概ね 37.5℃ 以上） | → | 有 | ・ | 無 |
| ② 咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状 | → | 有 | ・ | 無 |
| ③ だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難） | → | 有 | ・ | 無 |
| ④ 臭覚や味覚の異常 | → | 有 | ・ | 無 |
| ⑤ 体が重く感じる、疲れやすい等 | → | 有 | ・ | 無 |

2 確認事項

- (1) マスクを着用すること（受付参加時や着替え時の競技を行っていない際や会話をする際にはマスクを着用すること）。
- (2) こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- (3) 他の参加者、主催者、スタッフ等との距離（できるだけ2 m以上）を確保すること（障害者の誘導や介助を行う場合を除く）。
- (4) 大会開催中に大きな声で会話、応援をしないこと。
- (5) 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと。
- (6) 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。
- (7) 大会関係者は行動履歴書を記載し、感染者発覚の際は濃厚接触者特定のために必要となる場合もあるため、大会終了後1カ月程度保管しておくこと

No.

行動履歴書

所属（ ） 氏名（ ）

No.	月 日	曜日	行先	滞在時間	接触者
記入例	○ 月 ○ 日	水	会社	7 : 30～17 : 30	社員○名
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					

※ 罹患者が発生した場合、本人が発症 2 日前から現時点での行動歴を明らかにすることが重要です。試合に関わる全ての者は開催 2 週間前から記録しておくこと。

※ 大会終了後、1 カ月程度は各自で保管しておくこと。

No.

行動履歴書

所属（ ） 氏名（ ）

No.	月 日	曜日	行先	滞在時間	接触者
記入例	○ 月 ○ 日	水	〇〇中学校 〇〇塾	7:30～17:30 19:00～21:00	〇〇先生、生徒30名 〇〇先生、塾生15名
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					

※ 罹患者が発生した場合、本人が発症２日前から現時点での行動歴を明らかにすることが重要です。試合に関わる全ての者は開催２週間前から記録しておくこと。

※ 大会終了後、１カ月程度は各自で保管しておくこと。

同意書

小笠中学校体育連盟会長 ならびに

学校名

校長名 様

私は小笠中学校体育連盟 小笠中学校総合体育大会 競技
に参加するにあたり、健康上の問題はありません。また、同大会の開催要項の感染症
拡大防止対策及びガイドラインに従い同大会に参加することを同意します。

令和 年 月 日

参加者名

保護者名 ⑩

※参加者が生徒の場合は保護者も署名捺印してください。

「小笠大会実施時の感染防止対策チェックリスト」例

【大会本部用サンプル】

☐	感染防止対策について、施設と事前打ち合わせを行っている。
☐	感染防止対策について、運営スタッフと事前打ち合わせを行った。
☐	大会関係者全員の健康状態について確認を行った。
☐	会場内の巡回・確認について、運営スタッフのローテーションを作成し周知している。
☐	会場入り口等に手指消毒薬等を設置している。
☐	手洗い場に石鹸を準備するとともに、丁寧な手洗いの方法に関する資料等を掲示している。
☐	更衣室は、一度に入場できる人数を入り口付近に明示している。
☐	更衣室の床に、生徒同士の間隔を取るための目印テープを貼付するとともに、換気が行われている。
☐	試合中、チームが使用するベンチ等は、十分間隔が空いている。
☐	一度に会場には入れる人数や学校数等を制限している。
☐	広さにゆとりのある食事場所を、参加校に指定している。

※ 上記内容はサンプルのため、会場や競技の特性に合わせ内容については各競技部にて検討する

「小笠大会実施時の感染防止対策チェックリスト」例

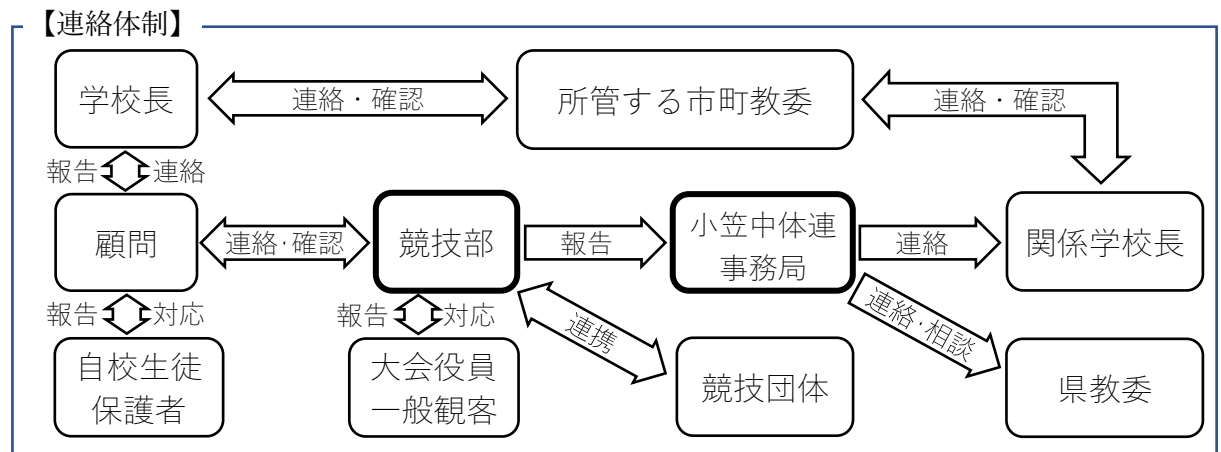
【選手・引率者用サンプル】

☐	大会 2 週間前から自身の行動履歴を記録している。
☐	風邪の症状（発熱、咳、鼻汁、咽頭痛、頭痛等）はない。
☐	朝、検温を実施し、発熱が無いことを確認している。
☐	マスクを準備している。
☐	タオルやハンカチを準備している。
☐	会場に移動する際、感染防止対策を講じている。
☐	手洗いを実施する。 （会場到着時・更衣前後・試合前後との距離・解散時 等）
☐	更衣室内に選手が密集しないよう、適切に使用している。
☐	常に自校や他校の生徒、大会関係者等との距離を、できるだけ 2 メートル（最低 1 メートル）空けている。
☐	給水するためのコップ等を共用しない。
☐	食事の際、間隔を取って座り、対面を避け、会話は控える。

※ 上記内容はサンプルのため、会場や競技の特性に合わせ内容については各競技部にて検討する

令和 4 年度 小笠中学校体育連盟主催大会の実施について
COVID-19 感染者及び濃厚接触者発現時の対応マニュアル

- 1 感染が確認された場合について（PCR 検査対象となった場合を含む）
 - （１） 顧問は、大会参加申し込み後から大会終了 2 週間以内に該当者が出た場合は、速やかに競技部連絡責任者へ報告し、競技部は小笠中体連事務局へ報告する。
 - （２） 顧問は、保護者を含めた連絡体制を整備しておき、時間外においても速やかに連絡を行うこと。
 - （３） 競技部は、大会役員等の連絡体制を整備しておき、大会終了 2 週間以内に該当者が出た場合は、速やかに小笠中体連事務局へ報告する。
 - （４） 感染者及び濃厚接触者と同じ大会・競技に参加していた関係者への連絡、対応は下記のとおりとする。
 - ア 顧問・指導者・大会参加生徒及び保護者への対応は各学校
 - イ 大会関係者（一般）及び観客への対応は競技部
 - ウ 小笠中体連事務局は、競技部と協力して連絡調整を行う。



- 2 感染確認後の大会運営について
 - （１） 感染が確認された場合は、競技部・事務局で状況を把握し、大会実施について対応を協議する。事務局は、協議結果を関係する全学校に連絡する。
 - （２） 感染が確認された学校においては、学校の全てが臨時休業（休校）中の場合、参加は認められない。ただし、学校の一部で臨時休業（学級・学年閉鎖等）の場合は、状況を把握し対応を協議する。事務局は協議結果を全学校宛に連絡する。
- 3 感染及び濃厚接触者の大会参加について
 - （１） 感染者は、PCR 検査が陰性となり、医師等と相談の上、他人への感染の恐れが無いことを確認し、体調及び体力が十分に回復した時点で参加を認められる。
 - （２） 濃厚接触者は、感染者と最後に接触した日の翌日から **1 週間**を経過し、症状が認められない場合は大会参加を認められる。風邪等の症状が現れた場合、PCR 検査が陰性となり、医師等により感染していないことが確認されれば大会参加を認められる。